

華やかなプレーと
厳しい練習

行政評価局総務課企画官

佐々木 淳

昭和60年入省



PROFILE Jun Sasaki

昭和60年 4月 総務庁採用
東北管区行政監察局

平成13年 7月 行政管理局主査

平成15年 4月 行政評価局評価監視調査官

平成18年 7月 行政管理局副管理官

平成22年 1月 行政評価局評価監視調査官

平成23年 1月 行政管理局副管理官

平成23年 8月 行政評価局総括評価監視調査官

平成24年 8月 行政評価局調査官

平成26年 4月 行政評価局総務課評価監視企画官

平成26年 5月 現職



月曜日

A調査の結果報告書等の論理矛盾について、担当班長を指導

火曜日

C調査の取りまとめ方法について、担当班長にアドバイス

水曜日

D調査の調査設計について、担当班長にアドバイス

木曜日

A調査の結果報告書等の論理矛盾について、再度、担当班長を指導

金曜日

行政評価局調査のあり方検討会に出席

裏方の仕事です

行政評価局調査は、分野別の評価監視官室がそれぞれ担当します。各室は、管区行政評価局・事務所に動員して調査を行い、行政の現場における課題や問題点を実証的に分析し、関係府省に改善方を勧告します。こうして、国民目線での行政運営の改善が実現します。勧告の際には、「〇〇〇について改善勧告 総務省行政評価局」と報道もされます。各室は、言わばスタジアムの華やかなプレーヤーです。

私の仲間は5人（女性4人、男性1人）です。この少数精鋭の仲間は、裏方として目立ちませんが、プレーヤーのために重要な仕事をテキパキとこなします。私の仕事は、嫌われても陰口を叩かれても、プレーヤーにアドバイスや指導などを行うことです。

私は、プレーヤーの華やかな活躍が大好きです。このため裏方として耐え忍んでいます。

マニュアル人間はいらない！

行政評価局調査では、本省の調査指示を受けて、全国の管区行政評価局・行政評価事務所の調査のプロが、行政の現場に出向き、国民が困っている課題や問題点を明らかにします。この実地調査結果があるからこそ改善方を提示することが可能となります。確固たる信念を持っている人に、第三者の意見を聞き入れてもらうためには、しっかりとした根拠が必要なのと同様です。

人に意見する立場の者は、相手を敬い、自分を律することが必要です。また、行政の現場における調査では、臨機応変に対応し、相手から話を上手に聞きだし、時に厳しい交渉により根拠データ等を入手することが必要です。このような調査技法は、マニュアルだけでは身に付きません。これまで勉強ができていてもできなくても、自ら考え行動する能力やコミュニケーション能力がなければ、調査のプロにはなれません。スタジアムで華やかなプレーをするためには、厳しい練習が必要です。あなたはこの練習に参加したいですか。



Private Time

土日は、本来の自分に戻ります。ロードバイク、ランニング、ウェイトトレーニング、そして殺傷技術を体系化した武術としての空手道です。したがって、日曜日の夕方はヘロヘロです。